

令和7年度都立大崎高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・思考力を鍛える ・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと」「聞くこと」の指導の充実	・読書や新聞を読む習慣を作る ・前年度の教科書選定時から、学年ごとの課題と指導計画を確認 ・作文・小論文・国語常識の指導 ・学年と協力し、朝学習において読書や速読を実施	・1年の朝読書で年間10冊は読む ・外部コンテストへの応募 ・漢字検定の受験の呼びかけ ・図書委員会と連携したビブリオバトルへの参加 ・大学受験ほか幅広い進路に対応する指導方法の研究
地理歴史	多面的・多角的な考察の充実。	・教科書選定時に豊富な資料・図を掲載している教科書、資料集を選定。 ・様々な資料から歴史的事象を考察する活動を重視した授業を実施。	・様々な資料を読み取り、考察・発表する学習活動の充実。 ・様々な資料を活用した問題演習の充実。
公民	2年「公共」と3年「政治・経済」の連携を図り、本校の主権者教育の一翼を担う。	・ICT端末の活用によるアクティブラーニングを取り入れる。 ・グループワーク等の協働的な学習を通して、多様な価値観を育みつつ、現代社会の諸課題に対応する問題解決型学習の導入する。	・教科書以外の新聞等のニュースなどを取り入れ、知識の定着と発展な学習を行う。 ・選挙等に関心を持たせるような、授業を展開する。
数学	「計算」「解く」「考える」ことの指導の充実。	・問題集を活用したテスト前課題の実施。 ・授業内容に沿った週末課題の実施。	・生徒同士で問題解決の過程を相談や振り返りをする授業の実施。
理科	科学的な見方・考え方を働かせた思考力を身に付ける活動。	・実験とレポートでの観察・実験と思考力との結び付ける取組。 ・知識を引き出し、思考の過程や考える習慣づけを行う授業の実施。	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施。
保健体育	思考力・判断力・及び表現力をつける指導。生徒の主体的活動を重視。	生徒自身が考え、判断し、主体的に行動する取り組み。 何事にも自分たちの目標に粘り強く取り組む。	主体的に考え、知識や技能の習得を目指し達成感や自信につなげる。 保健の授業では、共同作業と発表を行い、表現力・発信力をつける。
芸術	思考力・判断力・及び表現力をつける指導。生徒の主体的活な動を重視。	・実技演習を中心として、基礎的な技術体系の体得を目指す ・鑑賞に関わる多角的視野と基礎理論を共に身につけ、思考力の育成推進を行う	・スモールステップで課題を与え、実習時間を十分に確保し、応用的な技術を体得する。 ・体得した鑑賞力を元に、表現力のさらなる体得をすすめる。
外国語	「基礎基本の徹底」から「受験レベル」への指導の充実。	・各学年で模擬試験を行い、分析を実施。 ・毎週実施する単語・構文小テストで語彙力・文法力の積み上げ。 ・朝のホームルームで朝リスを実施しリスニング力強化。 ・JETによるオールイングリッシュの授業や、イングリッシュサークルの開催。 ・英検1次合格者に対する2次面接試験対策。	・土曜講座でリスニングを含めた構文指導を実施。 ・オンライン英語会話の有効的な活用のための指導。 ・共通テストリスニング対策の実施。
家庭	生きる力・たくましい人を育てる。	・被服実習では生徒自ら生地に線を引き、ミシンで縫うことにより、モノができていく過程を深く理解できるようにする。 ・調理実習を2回以上を目標に実施し、自分のための簡単な食事を用意できるようにする。	・食文化、栄養、調理について深く理解させ、食生活が健康に与える影響を考えさせ、自律した食生活を送れるようにし、人生100年時代の体づくりの基礎を確立させる。 ・家庭経済では、家計についての基礎的な知識を身に付けさせる。
情報	課題解決につなげる、構造化を学べる実習の充実。	教科書選定時に、平易な課題解決型実習を多く記載しているものを選定。 情報Ⅰの各単元が有機的に接続できるように学習を進める。	情報演習では、情報Ⅰで学習が不足しがちなプログラム分野を重点的に補完強化を行う。 データ分析やデータ解析では、1年生の数学で学習した分野と関連させながら学習を行う。 深化の度合いを確認しながら、適宜教材を用意して学習を行う